合本「教友」の発行

アップ体制が強化され、

「学友」

「教職支援室」の活動内容の充実 そうした中、学部に新設された

教員採用試験に向けたバック

発展をめざして…………堀田 埼玉大学教育学部の伝統の継承とさらなる 模擬個人面接を通して……………4 教職支援委員会から………………3 香織…2

令和四年度 教友会事業報告......18 卒業五X周年同窓会開催等案内......17 卒業五X周年同窓会開催等案内.....17 15

令和四年度教友会役員名簿……

 $\dot{22}$

学年理事名簿

令和四年度一般会計予算案

埼玉大学ホームカミングデー…………

事務局だより・編集後記………………

 $\dot{24}$ $\dot{23}$

同窓生の広場………………9

キャンパスライフ サークル紹介………7 ダンス部・陸上競技部・吹奏楽部・ミュージカル桃犬

令和四年度定期総会報告……………

20

令和三年度一般会計決算報告

特別会計決算報告

事業の推進を…………松澤 勇治…1 新たな会報誌の発刊と時勢に対応した

次

号 93 教採合格者から後輩へのアドバイス………5

新たな会報誌の発刊と 時勢に対応した事業の推進を

勇

れた昭和二十六年の五年後に創刊 誌を発行してまいりました。「教 学生向け「学友」の二種類の会報 交流の一助になることを願って、 知らせするとともに、 友」は、埼玉大学教友会が結成さ これまで卒業生向け「教友」と在 本会では、会の事業内容等をお 昨年までに九十二号を数える 会員相互の

○レイアウトはこれまでを踏襲 そして、合本後の編集にあたり、 ること

ビジュアルな紙面づくりに努め つつ、写真等を多用するなど、

することについて、本年度の総会 減等)の観点から、 の整理・統合・精選、 に係る業務改善の視点(業務内容 さらには、このたびの事務局移転 の他、「教友」との内容上の重複 で承認を得ました。 合本(「教友」に統一)して発行 討を進め、「教友」と「学友」を 方について本部常任委員会等で検 を通しての情報提供の在り方、 会報誌の在り 事業費の削

○終身会員である在学生・卒業生 掲載し、互いの交流の一助とす それぞれにとって有益な内容を

成十六年から、学生生活の向上に

から会員とする制度を導入した平 までに至りました。一方、在籍時

資することを主なねらいとした

「学友」も、これまで十八号を発

行してまいりました。

編集案について編集会議等

りました。本年度も、

ぎりぎりま

がやむなく中止せざるを得なくな めに、予定されていた多くの学年 新型コロナウイルス感染防止のた 行の運びとなりました。 ついては原稿依頼までに予想以上 の時間を要しましたが、 で十分協議し、特に新規の内容に 何とか発

力のほどお願い申し上げます。 ますので、よろしくご理解・ご協 図りながら、会員の皆様の親睦が 一層深まりますよう努めてまいり 今後も、新たな会報誌の充実を

初の「卒業五X周年同窓会」

ては、会として費用の一部を支援 システムに変更し、開催にあたっ 向けた事業として、令和二年度か できるようにいたしました。 ごとに学年別同窓会を開催できる 退職時期同窓会から、卒業後五年 ら、これまでの卒業十五周年及び と」を目的として各種事業を推進 しておりますが、より目的達成に 本会は「会員相互の親睦を厚く しかし、昨年度・一昨年度と、 併せて教育の振興を図るこ

> 期(一年遅れ)という大きな節目 学時代の懐かしい思い出話に浸る う学年理事を中心とした皆様の熱 和五十八年卒の学年のみ、 開催を見送った学年が多い中、 ていました。 けがえのないひとときを過ごさ など、和やかな雰囲気の中で、 ことを互いに喜び合いながら、大 精進され、見事還暦を迎えられた ら、教職をはじめそれぞれの道で 卒業後、日々健康に留意されなが ージに報告されていますが、大学 い思いにより、実現に至りました。 としても旧交を温め合いたいと に、同じ大学で学んだ者同士で何 で実施の可能性を探りながらも、 当日の詳細については、十五ペ 退職 か 11 時

催されることを願っております。 索しながら、何とか計画どおり じた様々な形態・運営方法等を模 が見通せない中ですが、 す。コロナウイルス感染症の終息 に計画的に準備が進められていま 予定され、学年理事の皆様を中心 来年度も十二の学年で同窓会が 状況に応 崩

昭和五十年卒